

FD (教員)	ナンバリング	レベル3	レベル2	レベル1
		企画・開発・同僚への指導ができる	設計・評価ができる	運用ができる
論文指導	FD401	博士論文指導レベル。新規性・実用性の双方を有する論文指導ができる。また、学生のメジャーな学会で査読付きの論文投稿や、査読のついた国際学会で発表・プロシーディングの作成指導も行える。	修士論文指導レベル。学生のテーマに即した研究スキルの指導や、新規性あるいは実用性のいずれかを有する学会発表や論文執筆に向けた指導ができる。修士論文等を評価するルーブリックの作成・評価が行える。	卒業論文指導レベル。学生に基本的な研究スキルの指導や、実用性（他の人の役に立つ）のある論文指導が行える。卒業論文等を評価するルーブリックにしたがって指導・評価ができる。
オンデマンド授業	FD301	レベル2に挙げた非同期型授業を行える。非同期型授業の企画・設計にあたり、学修者の注意を引き付ける工夫やピアレビューを導入するなど、PCを活用するメリットを踏まえて、設計できる。	レベル1に挙げた非同期型授業を行える。オンデマンド教材を自ら作成し、授業に活用できる。オンデマンド教材の開発に際しては、短い動画の間に各種ワークを取り入れるなど、オンデマンド授業の特徴を理解して開発できる。運用に際しては、非同期型授業であっても特定の時間帯を設け、学生からの質問等にリアルタイムで対応できるような授業も行える。	録音または録画によるオンデマンド教材（既存の教材でも可）をLMSにアップロードするとともに、オンラインでのディスカッション機能等を活用し、双方型の非同期の授業を行える。
演習・実習・ワークショップ・ゼミ	FD201	演習等の企画・設計にあたり、レベル2の内容に加え、社会のニーズ、自らの研究に基づいた知見、対象分野の最新の動向などを授業の内容に反映できる。また、必要に応じて地域社会等学外者との協力体制をコーディネートし、地域PBL等による学習機会を企画・設計・運営できる。	レベル1の内容に加え、学習者のレベルに合わせて演習等の設計、計画、講義、評価ができる。また、演習等の学習成果を評価するルーブリックを作成し活用できる。加えて、学習者がポートフォリオを作成するための指導や、ポートフォリオの内容に基づくフィードバックや指導ができる。	学部・学科等で予め到達目標や評価用ルーブリック等が決められた演習等について、運営、観察、指導、評価ができる。ティーチング、ファンリテーション、メンタリングを実践できる。
講義	FD102	講義中心型授業において、レベル2の内容に加え、社会のニーズ、自らの研究に基づいた知見、対象分野の最新の動向などを授業の内容に反映できる。	講義中心型授業において、学生の既有知識や理解度を確認し、その結果に応じて説明内容の補足や調整するなど、学生の学習成果を高める工夫を施せる。	教科書などの指標を用いて、講義中心型授業と学生の学習成果の評価ができる。
ICTスキル	FD101	レベル2に挙げた教育活動の実践にあたり、新しいICT機器やソフトウェアを活用できる。また、LMSや学修ポートフォリオの操作方法について、同僚教員からの問い合わせに対応し指導できる。	レベル1に挙げたことに加え、学修ポートフォリオの操作（学生への作成方法の指導やフィードバック）を実践できる。また、学生同士のディスカッション等、LMSを用いた双方向型授業を実践できる。さらに、オンデマンド型及びハイブリッド型授業に必要な機器やソフトウェアの使用法を理解し、実際にオンデマンド型及びハイブリッド型授業を行える。	講義資料作成にあたり、文章作成やプレゼンテーションのソフトウェアを活用できる。また、LMSを用いて資料のアップロードや課題の提示を行える。さらに、オンラインのミーティングツールを用いて、同期型の授業を行える。

FD・SD (教職員)	ナンバリング	レベル3	レベル2	レベル1
		企画・開発・同僚への指導ができる	設計・評価ができる	運用ができる
プログラム設計・評価・改善	FS301	教学マネジメント等に関する動向を理解し、レベル2に挙げた内容に関する学部等の同僚からの相談に対応できる。また、地域連携PFの意見、社会のニーズ、研究分野の動向等を組み入れ、連携先等と調整しながら、新たなプログラムの企画を行える。	与えられた方針に基づき、現状の3ポリシーを見直せる。また、プログラムの運用状況の評価に資するデータを提案し収集できる。さらに、当該データに基づきプログラムの運用状況の評価し、中長期的なプログラムの改善提案を行える。	プログラムの運用状況について可視化されたデータに基づき、プログラムの課題を考察・発見し、次年度への改善の提案ができる。
メンタリング	FS201	学修ポートフォリオの内容に加え、社会の動向や教育実践の動向を踏まえ、個々の学生に合ったメンタリングを企画・開発・実践できる。また、学部等の同僚にメンタリングの方法を指導できる。	レベル1に挙げた内容のメンタリングを行う際に、学修ポートフォリオを活用できる。	学生に関する各種データ(GPA等)を見ながら、履修相談、学修相談、キャリア相談、就職相談、留学相談、健康相談等の場で学生と面談し、適切に助言できる。
動向	FS102	国内外の大学を取り巻く状況を把握し、本学の状況を踏まえた上で、大学全体の将来に向けた新たな事業等を企画・開発できる。また、所属学部等の構想・計画の指導や助言を行える。	国内の大学を取り巻く状況について、行政、高等教育及び教育学、自らの関連業務等の動向を把握した上で、所属学部等の構想・計画の立案と評価を行える。	所属学部等及び大学全体の教育に関する方針や計画を把握し、説明できる。
コーディネート	FS101	地域のニーズを踏まえて、所属学部等または大学全体で行う新たな事業等を企画・開発できる。	地域のニーズを踏まえて、所属学部等の教育課程の設計や業務の計画立案を行い、実践した結果を評価できる。	地域のニーズを踏まえて、自らの教育活動や業務に反映させて行動できる。

学生TA	ナンバリング	レベル3	レベル2	レベル1
		企画・開発・同僚への指導ができる	設計・評価ができる	運用ができる
大学院生レベル	TA201	担当教員と協議しながら、学部の授業のうち複数コマを設計し講義を行える。また、担当教員の授業改善に向けた提案ができる。	担当教員の指導のもと、学部の授業1コマを設計し講義を行い、その結果を自己評価できる。	担当教員の設計・指導のもと、学部の授業1コマの指導補助を行える。
学部生レベル	TA101	担当教員の指導のもと、レベル2に挙げたことを実践できた上で、新人のTAに指導できる。また、担当教員の授業改善に向けた提案ができる。	担当教員の指導のもと、理解度や意欲等学生の状況を踏まえた学修支援を行える。授業の一部での設計・評価（ワークの設計、形成的評価等）等を行える。	担当教員の指導のもと、学生の学修支援（質問への回答、遠隔地での指導、ファンリテーション、メンタリング等）を行える。